

# 令和元年度「第7回医療通訳養成研修」募集要項

令和元年9月10日

## 【概要】

「医療通訳養成研修」では、医療通訳育成カリキュラム基準（厚生労働省）に基づき医療通訳に必要な「Ⅰ. 通訳理論と技術 Ⅱ. 倫理とコミュニケーション Ⅲ. 医療通訳に必要な知識」のそれぞれの基本的概念について学ぶことを目的とし、参加者が県内の保健医療の現場で医療通訳として活躍できるよう企画し実施してきました。

今年度は、講師に迎える全国医療通訳者協会（NAMI）の医療通訳者からは、医療通訳の役割や行動規範・倫理から基礎的な通訳技術の実践まで講義と演習を通して学び、県内で公衆衛生・地域医療に従事する医師からは、医療・医学の概論や医療における外国人対応の総論を学びます。国内・県内の医療通訳に係る現状と課題を共有し、外国人患者の対応に必要な基本的知識や技術を習得することを目指します。

## 【研修の到達目標】

### 〈知識〉

1. 医療通訳とは何か（他の通訳者との違い）を知る
2. 日本に暮らす外国人の現状（社会的背景）を理解し、外国人が医療上抱えている問題点を知る
3. 健康・医療・コミュニケーションに関する文化的・社会的違いがわかるようになる。

### 〈能力と技能〉

1. 逐次通訳の基本を体験し、必要な技術を理解する。
2. ノートテイキングの理論と技術がわかる
3. 専門の語彙力が增える
4. 正確性が向上する
5. 通訳者としての自己紹介ができるようになる

### 〈倫理〉

1. 中立性、公平性の大切さがわかる
2. 守秘義務を理解する
3. 医療通訳者の行動規範等を理解する

【対象・定員】 県内で通訳者として活動されている方（ボランティア・雇用不問）、医療現場で通訳の経験のある方、医療通訳に関心のある方、医療従事者など30名程度

【開催日】 令和元年11月9日（土）、10日（日） 2日間の連続研修

【会場】 青森県立保健大学 A棟1F107教室（正面向かって左の棟）

【受講料】 無料

【使用言語】 日本語・英語

## 【プログラム】

(1日目)

- 9:00～10:00 講義（川内）：医療通訳の概要、青森県の通訳事情  
10:00～11:00 演習（メリッサ）：医療の英語練習  
11:00～12:00 講義（矢野）：身体の仕組みと病気  
12:00～13:00 昼食（休憩）  
13:00～17:00 講義・演習（森田）：社会の中で医療通訳が果たす役割、  
行動規範・倫理、基礎的な通訳技術

(2日目)

- 9:00～12:00 講義・演習（森田）：通訳練習（グループ練習）  
12:00～13:00 昼食（休憩）  
13:00～15:30 講義（矢野）：医療制度と医療体制、  
保健医療現場における外国人対応と医療通訳への期待  
15:30～16:30 グループワーク（川内）：学習を継続するために

## 【講師】

- 森田直美（全国医療通訳者協会代表理事／医療通訳者）  
矢野亮佑（青森県三戸地方保健所保健医長／医師）  
川内規会（青森県立保健大学教授）  
小笠原メリッサ（青森県立保健大学講師）

【募集締め切り】令和元年10月27日（日）

## 【お申込み・お問い合わせ】

「氏名、所属、連絡先（メールアドレス）」を代表川内にメール  
（k\_kawauchi@auhw.ac.jp）または電話（017-765-2422）でお知らせください。  
なおメール返信が1週間たって来ない場合には、メールが届いていない可能性もありますので、確認のため再度ご連絡ください。

## 【その他】

1. お昼をはさむので、昼食をご持参ください。  
（近くにコンビニエンスストアはあります。）
2. 駐車場はご利用できます。